

第 29 回会長の時間 宇部 RC 内良奨学金奨学生「卒業お祝いの会」 3月2日

宇部 RC 内良奨学金奨学生の皆様、本日はご卒業、誠にありがとうございます。ご臨席の保護者の皆様には心よりお祝いを申し上げます。また、諸先生方のご功勞に対し、改めて敬意を表したいと存じます。高校生活の3年間という、長い人生の中ではごくごく一握りの時間の中で、皆さんは勉強、部活動、課外活動などに活躍され、多くの思い出を残されたと思います。

ご存じのように、宇部 RC 内良奨学金は、宇部市内の全高校生を対象としたクラブ独自の奨学金制度であり、昭和44年2月に発足して現在までに皆様のような立派な奨学生を572名輩出してまいりました。皆様におかれましては、卒業後に、上級学校に進まれる方もいれば、実社会に巣立つ方もおられると思います。この高校生活の一部に我が宇部ロータリークラブが関わったことに、そしてまたこうして目の前で卒業式を行えたことに対して、私どもは、喜びを感じております。今日こうして皆さんの姿を見ていますと、嬉しさは言うまでもなく、頼もしさ、心強さを感じます。ここまで来られたのは、ご家族や先生方ももちろん、多くの先輩、後輩、友達との交流から得た優しさや温かさ支えられていることも忘れてはいけません。今、皆さんの心の中は、卒業を迎えるというわくわく感、友達と離れてしまう寂しさ、このような気持ちで満たされているのではないのでしょうか。そして、4月からはそれぞれの新しい日常が待っているわけですが、少しだけ社会に足を踏み入れる皆さんは、自分の考えを持って選択することができる自由を得られ、一方で、思い通りにならない不自由さを感じるようになるでしょう。楽しいこと、嬉しいことがたくさんあるのが社会であれば、同時に、辛いこと、寂しいことがあるのも社会です。そんな時に皆さんには、大きな夢を持って、自分を信じて生きていってほしいと強く思います。

さて、皆さんは、萩市出身の長州藩士で、松下村塾で知られる吉田松陰先生をご存じと思いますが、吉田松陰先生は、こういう言葉を残しておられます。「夢なきものに成功なし」という言葉です。すなわち、夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なしといった先生の論法です。言い直せば、いつも夢や理想を持ち、それを求めて計画して実行すれば成功するでしょうといったお言葉です。どうぞ皆さん、これからは大きな夢に向かって積極的に進んで頂きたいと思えます。胸いっぱい夢を心に携え、いっぱい勉強し、運動して、目いっぱい笑ってそして悲しんで、人生を謳歌してください。未来は無限の可能性に満ちて

いるということを信じてください。他人と過去は変えられませんが、自分と未来は変えることができます。卒業生の皆さんに心からの祝福を贈り、そしてご臨席の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。